

# 一般社団法人国際介護人材育成事業団

## 2017年度 第3回理事会議事録

日時：2018年1月27日（土）14時00分～16時15分

会場：社会福祉法人寿量会 地域密着型特別養護老人ホーム天寿園N e O2階多目的ホール  
(敬称略)

出席者：(理事) 金澤 剛 福本京子 小沼正昭 上野 歩 江口 幸一 小國 英夫  
(監事) 松本 典丈

参会者：(オブザーバー)

池尻 久美子、前川 直、佐藤 和夫、大西 岩光、松下 智子、福本 解  
杉本 愛佳、中川 博子、宮本 信、松本 信弘

配布書類：理事会の議案書（事前資料）、同（当日資料）

### ○招集と定足数

金澤理事長より、1月18日、定款35条1項に基づき、2017年度第3回理事会を招集したこと、又、14時現在、理事総数の過半数以上の理事6名全員が出席し、定款37条1項に基づき、本理事会は有効に成立したことが報告された。

又、理事会規則（（関係者の出席要請）第4条に基づき、上記のオブザーバーを理事会に出席させることを報告した。

その後、金澤理事長が議長に就き、開会を宣言し議事に入った。理事会の進め方として、審議事項、一般報告、特別報告の順に審議、報告することを確認した。

尚、当日は、理事会に先立ち、寿量会の特別養護老人ホーム天寿会、地域密着型特別養護老人ホーム天寿園N e Oの施設見学が開催され、理事、監事と県外からお見えになったオブザーバーの合計11名が参加した

### ○審議事項

#### 1. 第1号議案 正社員、賛助社員の入社承認の件

議長は、提案要旨の一部変更を報告し、小沼専務理事より、理事会の議案書（当日資料）に基づき、第1号議案の提案要旨等を説明させ、質疑の後、議場に諮ったところ 全員異議なく賛成、可決された。新たな入社団体は、以下の通り。

◇正社員（団体） 社会福祉法人京都南山城会（理事長 三上 勝利）

◇正社員（団体） 生活協同組合パルシステム東京（理事長 野々山 理恵子）

#### 2. 一般報告

議長は、理事会の議案書（事前資料）に基づき、小沼専務理事より、一括して報告事項を説明

させ、12月31日現在の貸借対照表並びに4～12月末の期間損益計算書の決算報告、2017年度の決算見直し等を確認した。

又、理事会議案書(当日資料)に基づき、次年度以降の中期の課題と6月の定時総会までに整理すべき事項(①入会金と会費の見直し②新たな役割と機能と業務内容の再整理③財政の安定と運営の改革等)と12月3日の日本語能力試験の試験結果を含め、中国、ミャンマーの生徒たちの近況と新たな課題の報告があり、対応方針について集中した討議を行った。

会費の件は、現行のA,B,Cの見直しを確認し、会費としてはシンプルに、又、一般社団法人(非営利型法人)への寄付と社会福祉法人(寄付者)のメリット(控除)の検討について、意見を頂いた。

又、両国の介護技能実習生を巡る新たな課題については、「統一契約書」様式の検討や中国からの受入は情報の集約と現地との調整を継続することを再確認し、実習実施者が既に指名し、日本語要件をクリアした5名の生徒たちに対し、雇用条件等を提示し、面接を求めていくこと、ミャンマーは、12月の試験に合格した14名に加え、2月のNATテストの合格者も含めて、受入を行うこと、同時に生徒たちのN3合格に向け、最善の具体的な方策を講じることを確認した。又、来期に向けて、今期の反省を踏まえて、実習生との内定と契約のタイミング、質の高い日本語教師の育成とN4、N3合格の試験対策の強化体制等について、監理団体、送り出し機関と協議し、各々の役割分担を明確にしていくことを確認した。次に、特別報告は『『優良な実習実施者』の集団を目指そう』。改めて、国際貢献なのか?介護人材の不足解消か?の問題提起から始まり、様々な制度的な矛盾を指摘しながらも、事業団の盟約として、「優良な実習実施者」の集団を目指すこと確認された。又、日本の介護現場が異文化交流を通じて活性化し、日本人の介護職員も間違いなく育つことが大切な意義との指摘があった。

最後に、4月21日の第4回理事会を、関東で開催することを確認し、開催場所は、(株)社会福祉総合研究所の了解のもと、同研究所に一任することを確認した。

議長は、以上をもって、議事審議を終了し、16時15分に閉会を宣言して散会した。

以上、相違ありません。

2018年1月27日

一般社団法人 国際介護人材育成事業団

代表理事 金澤 剛

理事 福本 京子

理事 小沼 正昭

理事 上野 歩

理事 江口 幸一

理事 小國 英夫

監事 松本 典丈